平成30年度 行政評価事業別シート

		実計対象		評価対象	के ■	新規		完了事	業 [」 <mark>ゼロ予</mark>	算事業		担当者	警防課
		全体計画						経費区	分	-	_		内線	3781
事務	事業名	4343	水防	i対策事業	Ę									
所	属	450100	450100 消防本部・消防本部・消防署											
施	策	03021400	消防	· 救急体	制の充乳	実								
マ畑	会計	01	一般	会計										
予算	科目	090104	消防	費・消防	費・水	访費								
科目	事業	010000	水防	対策事業	ŧ									
事業	目的								事業権	既要・効果	₽ P			
=	千曲川	等の現地訓	直を	行い重要	水防箇	所の把握	及び	水	重	要水防箇	听の現均	也調了	を関係機	関と行い、協力体制
ß	方活動に	方法を検討	tし、	出水期を	前に水	防倉庫の	点検	及	を	確認する。	.			
7	び管理	委託を行い	小 水防	資機材を	整備す	る			水	防資機材	の点検を	を行し	い適正に整	備する。

PLAN-DO

年度実績及び予定

一人大模なしずた	
平成27年度 実績	平成28年度 実績
市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討	市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討
水防倉庫14か所及び資機材の点検、維持管理	水防倉庫14か所及び資機材の点検、維持管理
平成29年度 実績	平成30年度 予定
市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討	市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討
水防倉庫14か所及び資機材の点検、維持管理	水防倉庫14か所及び資機材の点検、維持管理
平成31年度 予定	平成32年度 予定
市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討	市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討
水防倉庫及び資機材の点検、維持管理	水防倉庫及び資機材の点検、維持管理

指標名	_					
算 式	_					単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
目標値	実 績					
指標選定	-					
の理由						
最終年度	-					
目標の根拠						
指標名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実 績					
指標選定						
の理由						
最終年度						
目標の根拠	·					
指標名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実 績					
指標選定						
の理由						
最終年度						
目標の根拠						

事業費 (単位:千円)

2-7-2-			(TE: 113)
		平成29年度	平成30年度
		决 算	予 算
事業費		1, 459	533
	国庫支出金	0	0
特定	都道府県支出金	0	0
財 源	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1, 459	533
人員数(人)	正規職員	0. 2	0. 2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	正規職員	1, 429. 8	1, 429. 8
人員	嘱託職員	0.0	0.0
コスト	臨時職員	0.0	0.0
	計	1, 429. 8	1, 429. 8
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		2, 888. 8	1, 962. 8

(単位:千円)

平成29年度決算 事業費の内訳							
主な節	金額	内容					
8節 報償費	197	重要水防箇所現地調査及び水防倉庫等の点検に対する出動報償197					
11節 需用費	33	水防資機材33					
13節 委託費	222	水防倉庫管理委託27 本郷水防倉庫の建築確認申請委託195					
15節 工事請負費	150	本郷水防倉庫の解体工事150					
19節 負担金補助及び交付金	0						
その他	857	本郷水防倉庫の更新設置523、水防工法用資材・原材料334ほか					

(単位:千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳							
主な節	金額	内容					
8節 報償費	198	重要水防箇所現地調査及び水防倉庫等の点検に対する出動報償196					
11節 需用費	33	水防資機材33					
13節 委託費	27	水防倉庫管理委託27					
15節 工事請負費	0						
19節 負担金補助及び交付金	0						
その他	275	災害対応活動車両等の借上5、水防工法用原材料270					

CHECK

CHECK	ID DI STATE	
-7.0		
項目	評価観点	評価内容
	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか・行政内部の管理運営上必要な事業であるか	
必要性	・市が主体となり実施すべき事業か	必要不可欠
	・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか	
	・目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか	
	千曲川等の重要水防箇所を関係機関合同で確認し出水期に備える	
評価	水防倉庫及び資機材の点検整備・管理を行い、出水期に備える	
コメント		
1/2 h		
	・事業の成果は上がっているか	
	・目標に対する達成度は十分か	
有効性	・市民生活上の課題解決に貢献しているか	大変有効
	・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか	
	・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	
	関係機関が情報を共有し、災害対応で連携した活動を実施する	
評 価	過去の災害対応において連携し、被害を最小限にできた活動実績を伝承共有する	
コメント		
	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか	
効率性	・効率性向上に努めているか	変わらない
	・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	
	必要最小限の予算で実施しており、現状を維持する	
評価		
コメント		

振り返り(決算年度の取組み課題)

出水期前に水防資器材の整備を図り、発災時の活動に万全を期す

内部評価【二次】 4頁

ACTION

1次評価 2次評価

- + 181 H-	- + 181 IP		
次年度以降の方向性 総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性 総合計画に沿って継続		
総合評価コメント	2次評価コメント		
重要水防箇所点検を関係機関と実施した。	水防重要箇所の巡察というソフト面と、水防施設整備 のハード面及び関係者の連携を引き続き継続して災害 に対応する必要がある。		

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	